北海道議会議員

2026夏

小林ちよみ vol.9 道政だより



発行：小林ちよみ道政事務所　千歳市錦町２丁目23-1

●この道政だよりはポスティング、チラシ折り込み、郵送でお届けします。

道民生活応援ポイントとアプリの課題

物価高対策緊急支援事業「道民生活応援ポイント給付」が６月末から始まりました。

６月末から世帯主宛てに案内ハガキが届きました。私は郵送申請をし、申請から約１か月後、5,000円分の商品券が郵送で届きました。アプリ経由でも様々な課題があり、アプリで道民ポイントが受け取れますが、道民ポイントを自分が使っている各種ポイント（ｄポイントやPayPay、WAONポイントなど）に移行するには１週間近く時間がかかる、手続きが分かりずらいなどの課題が表れています。

この北海道アプリはポイント給付だけでなく、北海道のデジタル広報紙が読める、「熱中症注意情報」「夏休みを安全・安心に」などのお知らせを受け取ることができ、将来的には各種情報提供に活用することを目的にしています。しかし、マイナカードを登録しなければ北海道アプリから情報ひとつ受け取れず、道民に対しての情報格差を生み、公共の福祉とは言えません。ポイント申請は11月16日までですが、今後せっかく作った「北海道アプリ」が有効活用できるように制度設計を変更していくことが必要です。



小林ちよみ道政事務所



●住所　〒066-0064　千歳市錦町２丁目23-1
●TEL　0123-21-9174　●FAX　0123-21-9176
●Mail　info@chiyomi.jp

お気軽にお立ち寄りください

ＤＶ女性被害者対策を問う



DVの相談窓口
011-666-9955（女性被害者の相談ダイヤル）
011-661-3210（男性被害者の相談ダイヤル）

●６月議会　一般質問より

６月19日、北海道議会本会議で一般質問に登壇しました。質問内容は「DV女性被害者対策」「ラピダスの全道への波及効果」「外国人との地域共生社会」など。

道内には16カ所の配偶者暴力相談支援センターがあり、北海道が運営する緊急避難シェルターと自立支援につなげるための支援施設がありますが、自立支援施設に入所するためには中学生以上の男児は同伴できない、携帯電話を使えない、共同生活などの条件があり、北海道が運営する自立支援施設はほとんど活用されていない状況です。DV被害者には様々な背景があることから、工夫しながらせっかくの施設を有効活用できないか、「女のスペース・おん」などの民間支援団体との更なる連携などを問いました。



北海道女性議員協議会研修会IN千歳

全道の道・市町村議会女性議員による「第70回北海道女性議員協議会研修会」が７月１日、千歳市で開催され、全道から約50名の女性議員が集まりました。昭和27年、わずか７名の女性議員が全道から集まり、議会の中で圧倒的少数者の女性が情報共有し、ともに連携しながら議員活動に活かしてきたのがこの会の始まりです。現在、道内の自治体議員は全体で2,232名、うち女性は363名、増えたとはいえ、まだ女性議員は全道平均で16％しかいません。



研修会では陸上自衛隊で38年間勤務する現職女性自衛官の苦労話を伺い、キリンビール北海道千歳工場を視察し、今年で開港100年を迎える千歳の空港からみえる発展を学び、女性議員の連帯と連携を深めました。私を含めた千歳の女性議員５名は現地実行委員として奔走。みなさま、ありがとうございました！

来年第71回の研修会は札幌市で開催予定です。

写真で見る小林ちよみの活動



千歳消費者協会
定期総会



北海道植樹祭
（枝幸町）



学校の働き方改革を
訴える